

練馬通信

No. 371
平成30年2月
練馬第二小学校
校長 大槻 亨

豊かな国際感覚を身に付ける

校長 大槻 亨

一月は、第二土曜授業公開および校内書き初め展に多くの保護者の皆様にご参観いただきました。また、練馬区立美術館で行われた連合図工展や連合書写展にも、多くのご参観をありがとうございました。特に第二土曜授業公開日に実施いたしました道徳授業地区公開講座の保護者・地域の皆様対象の講演会では、ルーマニアの大使館の方をお招きしました。ルーマニアの文化や教育事情についてご紹介いただくと共に、ルーマニアの楽器であるパンフルートの第一人者の演奏を実施しました。予想以上の参加者に椅子が足りなくなるほど、多くのご参加をいただき、大変に感謝しております。

外国の方々と交流

この日は、九カ国の方々と各学級に迎え、その国の文化に触れるとともに、外国の方々と交流を行いました。本校はオリンピック・パラリンピック教育

アワード校として、豊かな国際感覚の醸成に向けた取組の成果が認められ、東京都教育委員会より表彰を受けました。この交流会はその一環として行ったものです。子供たちが世界各国の人々と臆せずコミュニケーションを図ろうと楽しんで交流する様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。子供たちだけではなく、交流した外国の方々も共に楽しんでいられる様子が見られました。

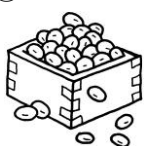
この日いらした外国の方の中には、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックのガイドを目指して来日し、タクシードライバーとして働いている方がいました。近く、家族も呼び寄せたいとの思いを語ってくださいました。二〇二〇年に向け、ますます外国の方々の日本への注目度は高まっていることを実感させられました。

豊かな国際感覚を身に付けるために

昨年三月に新しい学習指導要領が告示され、平成三十二年度から中学年に外国語活動、高学年に外国語科が導入されます。来年度からの二年間は移行期間として、今年度は、その移行期をスムーズに迎えるための準備期間と位置付けられています。本校でも外国語活動を研究の中心に据え、今年度は一年生から外国語活動を行ってきました。外国語活動の目的は、単に英語を繰り返して覚えさせるなどの知識に偏重したものではありません。豊かな国際感覚の基盤を培うため、言語や文化に対する理解を深めることが重要視されています。その際、知識のみによって理解を深めるのではなく、体験を通して理解を深めることが求められています。体験的に理解を深めることで、言葉の大切さや豊かさ等に気付かせたり、言語に対する興味・関心を高めたり、これらを尊重する態度を身に付けさせたりすることが期待できます。ALT(外国語指導助手)だけではなく、外国の方々と交流するという体験は、多様な国の言語や文化に対する理解を深めるよい機会となったと思います。今後も子供たちが世界各国の人々と臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、世界の多様性を受け入れることのできる豊かな国際感覚を身に付けていけるよう努めてまいります。

二月の行事予定

- 5 (月) 委員会活動
- 7 (水) クラブ紹介集会①
- 10 (土) クラブ紹介集会②
二分の一人式(四年)
- 11 (日) 建国記念の日
- 12 (月) 振替休日
- 14 (水) マラソン月間終・午前授業
- 15 (木) 新一年生入学説明会
午前授業(一、二年)
- 16 (金) 避難訓練、煙体験(二年)
- 19 (月) お話の会(一、二年)
クラブ活動・クラブ見学(三年)
- 20 (火) お話の会(三、四年)
保護者会(五、六年)
- 22 (木) 保護者会(三、四年)
ファミリールール(三、四年)
- 23 (金) お別れスポーツ大会(五、六年)
- 26 (月) PTA総会
- 27 (火) 保護者会(一、二年)
ベジフルセンター見学(三年)
- 28 (水) 六年生を送る会



★今月の生活目標

・じょうぶな体をつくろう。

★週の生活目標

・上着をぬいで遊ぶ。
・寒さに負けず元気に遊ぶ。

二分の「成人式に向けて」

四年担任 武井一彦・玉川真衣
四年生は、二月十日(土)の二、三時間目に、「二分の成人式」を行います。

「二分の成人式」は、十歳という節目の歳を迎えたことを祝い、今までお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えるとともに、これからの夢や目標に向けての決意を表明する式です。

まず、各クラスで大人について考える授業をしました。「あなたが考える大人とは」というテーマで話し合うと、「家族のために働いている」「たくさんのお金を知っていて何でも自分でする」などいろいろな意見が出ました。そして、そんな大人になるために今からできることを考えました。

「二分の成人式」では、自分のよさを伝えるCMを作って流したり、手紙や歌やよびかけで感謝の気持ちを伝えたりできるように準備しています。また、「二分の成人式実行委員会」の子供たちが、案内状の作成、会場の装飾、司会原稿の準備などを行っています。

共にお互いの成長を祝い、感謝の気持ちもてる会にしていききたいと思います。保護者の皆様の思い出に残る会になるよう取り組んでまいります。

マラソン月間について

体育的行事部 重白 裕美
一月二十四日(水)から二月十四日(水)までの中休みの時間、全校で「マラソン」に取り組みます。

マラソンに取り組むことで、筋持久力や心肺機能が高まり、冬の寒さに負けない健康な体を作ることができます。また、長い距離を走りぬくことで、粘り強い心を養うこともできます。

子供たちは、中休みに毎年元氣よく校庭に出て、走ることを楽しんでいきます。毎日少しずつ、中休みに走った周回数をカードに記録していきます。最後まで走り抜いたマラソンカードは、完走証になります。自分の頑張りが見えてわかります。一人一人が無理なく自分の目標をもって、意欲的に取り組むことで、走ることの楽しさや、自分の成長を感じて欲しいと考えています。

残念ながら、雪の影響でまだ取り組めていませんが、ご家庭でも、ぜひ励ましの声をかけていただきたいと思います。



あいさつ運動 川柳大会

生活指導部 小倉 哲治
毎年、一月下旬に全校児童で「挨拶運動 川柳大会」に取り組んでいます。「きたえ国語」の時間に二年生以上が実施しています。(一年生は自由参加です)

挨拶は人と人の心を繋ぐ上でとても大切なことなので、日々の指導に加えて、年一回挨拶運動として取り組み、気持ちのよい挨拶をしようという意欲を喚起したり、挨拶の大切さを考えたりする機会にしています。

「川柳」は難しいところもあります。が、「五・七・五」のリズムを楽しんで、挨拶への思いを表現してほしいと考えています。

各学年三点が優秀賞に選ばれて、賞状が渡されます。子供たちが一生懸命考えて取り組む「川柳」、毎年、素敵な作品が生まれています。二月の学校公開日ときには昇降口に展示しますので、ぜひ見てください。

オリンピック・パラリンピックについて

教務部 北野 智也
東京でのオリンピック・パラリン

ピック大会開催まで後二年となり、日本中で大会を盛り上げようという機運が高まっています。本校においては、本年度「オリンピック・パラリンピック・アワード校」として、豊かな国際感覚を養うための教育活動を推進しています。その一環として、十二月二十一日(木)に縄跳びギネス記録保持者の生山ヒジキ先生をお招きして縄跳び教室を開催しました。プロの技に間近で触れ、楽しく学ぶことができました。また、一月十三日(土)の学校公開、道徳授業地区公開講座では、外国人の講師の方たちを各教室にお招きして交流会を行い、様々な文化に触れることができました。

二〇二〇年は子供たちにとって身近にオリンピック・パラリンピックを感じられる貴重な機会となります。有意義な学びを積み重ねていけるよう、学校全体でオリンピック・パラリンピック教育を進めて行きますので、引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

